

行政

域

ワクを取り外すと
新しい関係が
目の前に広がった!

を

情報化の波が押し寄せ、交通アクセス網が広がり、ポーターレスがどんどん進む時代の中、行政域というワクが考え直されています。但馬の西の端に位置する美方郡(村岡・浜坂・美方・温泉町)、南の端にある生野・朝来町はそれぞれに行政域を越え、自分たちの町を中心とした新しい地図を手に入れるべく、模索しています。

但馬と因幡の8町 西の端が中心になる交流

兵庫県と鳥取県の県境8町が手を結び、交流しながら地域づくりを協力して進めようと、平成8年5月にスタートした「因但県境自治体会議(コリドー21)」は着実に交流を深めています。県境の8町とは下の地図に示すように、兵庫県但馬地域からは村岡・浜坂・美方・温泉町、鳥取県因幡地域からは国府・岩美・八東・若桜町のこと。

昔から但馬と因幡は、とても深いつきあいがあり、蒲生峠や七坂八峠、氷ノ山を越えて、お嫁さんも行き来していたといいますが、愛称を「コリドー21」といい、「コリ

」は英語で「回廊」を意味し、県境の壁を越えて、21世紀へ羽ばたこうという願いが込められています。ロゴ、シンボルマーク、キャッチフレーズは一般公募され、集まったたくさんの作品の中から決められました。県境の壁を越えて新しい時代の風をおこそうと、住民交流を基盤とした新しいタイプの地域活性化の試みとして、いろいろな事業ごとに担当の町を決めて実施しています。

まず、各町を知り合おうというところから、平成10年7月の夏休みには「子供サミット森でチャレンジ! わんぱく冒険キャンプ」がおこなわれ、8町の子供たちが村岡町相大池公園に集って、野外活動を通して新たな友達の輪が生まれました。スポーツ交流事業としては「ふれあいグラウンドゴルフ大会」が美方町でおこなわれ、100人からの参加者が日頃の腕を競い合いました。また、10月には交流推進と郷土芸能継承促進を図るために、8町を代表する郷土芸能が一堂に会した「因但郷土芸能フェスティバル」を国府町で開催し、立ち見ができるほどの盛況を博しました。同時に8町の特産品を展示即売し、好評を得ました。これからも、各町のイベントに参加し、「コリドー21特産展コーナー」を設けてPRや販売活動をしていく予定です。



子供サミットに参加した8町の子供たちは、すぐにうけあひの友誼になりました。明日を担ってくれる大切な子供たちです。



また、10月には交流推進と郷土

さらに、交通アクセス整備対策事業として、国道482号、国道178号の整備促進や、鳥取豊岡宮津自動車道の事業推進、「スーパーはくと」の岩美駅、浜坂駅の乗り入れなどを要望しています。

これまでになかった観光道路マップが完成しました。8町の紹介やイベント、施設ガイドなどがわかりやすく掲載されています。これを利用しながら、もともと但馬と因幡を行き来していきたいという願いがいつか実現されています。

コリドー21
因但県境自治体会議 (コリドー21)
●キャッチフレーズ
「交流で 因但はひとつ 夢回廊」

コリドー21の頭文字「C」を笑顔のマスケット風デザイン。

兵庫中央エリア連絡会
●キャッチフレーズ
「広げよう 出会いふれあいいい未来」

但馬(TAJIMA)と播磨(HARIMA)のそれぞれのイニシャル「T」と「H」の文字を「人」や「清流・高原」「太陽」など、豊かな自然にデザインし、「地域の連携」「むら(田舎)とまち(都会)の交流」をイメージし、いきいきと活力に満ちあふれた姿をデザイン。

越

え

 **元気印**
のまちたち 6
The town is in high spirits

た

交

流

但馬と播磨の4町 生活網が基盤になる交流

こちらは但馬の南の端と播磨の交流。不思議に時を同じくして動き始めています。平成8年度電源地域振興指導事業により、電力用ダムがある生野・朝来・大河内町の3町で兵庫中央レイクエリア振興計



各町から担当者が集まり運営された少年野球大会。日帰りができる距離を実感した大会でもありました。



職員研修会では若い職員たちの活発な意見交換などが行われました。

画を策定しました。これをきっかけに平成9年、神崎町が加わり「兵庫中央エリア連絡会」が発足しました。もともと住民の生活の中では、自然に行き来がおこなわれていた。例えば、生野町の工業団地へ神崎町や大河内町から勤めに来ている人が相当多く、また、生野町や朝来町から公立神崎病院へ行く

方が便利で、たくさんの人たちが通院しています。県立生野高校へは神崎町や大河内町からも生徒たちが通学しています。このような生活圏の深い交わりがあつてこそ、自然に生まれてきた発想ともいえます。募集していたシンボルマークやキヤッチコピーも決まり、平成10年夏には大河内町・神崎町で少年野球大会をおこない、10月には但馬・食文化まつりに参加し、兵庫中央エリアブースを設けて4町の特産品を販売しました。

また、4町の若手の職員を対象にした職員交流研修会を開催し、各町の地域特性を生かしながら4町をまわる旅行プランづくりを行いました。さらに、各町の観光資源などの地域情報や生活情報をたっぷり盛り込んだ兵庫中央エリアマップを作成する計画で、活性化に役立ちそうです。その他にも4町の特産品の詰め合わせセットや施設利用などの際に特典がつく周遊券の発行なども検討されています。特に形式にはこだわらず、「兵庫中央エリア連絡会」としての独自の交流事業を肩肘張らずにやっていきたい。それが、結果的に各地域の活性化につながれば良いのではと思っているそうです。

行政のワクを破つて、協力し合う新しい試みが始まっています。イベントなどの但馬の情報が入り交差する中、播磨へ発信されたり、反対に因幡や播磨の情報が但馬へ入ってくることは、但馬全体にとっても良いことです。美方郡や生野・朝来町はそれぞれ但馬の窓口としての役割も担っているといえるでしょう。もっと広い視野で見ると、いろいろな事や知らなかったものが見えたりするものです。これによってお互いの活性化が進み、もっとオリジナルの活性がある動きが出てくる

●因但県境自治体会議(コリドー21)

問い合わせ
事務局／浜坂町役場企画課企画調整係 TEL0796(82)3111 FAX0796(82)3054
〒669-6792 兵庫県美方郡浜坂町浜坂2673-1

●兵庫中央エリア連絡会

問い合わせ
事務局／生野町役場開発推進室 TEL0796(79)2240 FAX0796(79)2149
〒679-3392 兵庫県朝来郡生野町口銀谷791-1